

"the whole truth, and nothing but the truth about Jesus"

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

デイリージーザスニュース #024

イエスの宣教準備の30年

洗礼者ヨハネが宣教を始める

ヨハネ 1.6-9; ルカ 3.1-6 (並行テキスト: マタイ 3.1-3; マルコ 1.2-4)

=====

ヨハネ1:6-9。6 神から遣わされた人が現れた。その名はヨハネであった。7 この人は証しをするために来た。光について証言し、すべての人が彼の働きを通して（光を）信じるようになるためであった。

8 ヨハネ自身は光ではありませんでした。彼は特に光について証しするために来ました。9 すべての人を照らし続ける真の光（イエス）は、間もなくメシアとして世に現れるはずでした。

ルカ 3.1-6 (並行本文: マタイ 3.1-3、マタイ 1.2-3)。1 ティベリウス帝の治世の第15年、ポンテオ・ピラトがユダヤの総督、ヘロデがガリラヤの領主、その兄弟フィリポがイツリアとトラコニテスの領主、リサニアがアビレネの領主であったとき、2 アンナスとカヤパが大祭司職にあったとき、神の声がユダヤの荒野でザカリアの子ヨハネに聞こえた。

3 ^{MT}そのころ、バプテスマのヨハネがやって来ました。L^{彼は}ユダヤの荒野のヨルダン^川周辺のすべての地域に行き、¹罪の赦しを受けたことに基づく悔改めのバプテスマを宣べ伝え、^{MT}こう言いました。「悔い改めを続けるように命じます。天の御国は永遠に近づいたからです。」

4 この方は、預言者イザヤを通して語られた方です。イザヤの言葉の書にこう書いてあります。

「荒野で叫ぶ声が

「あなたたちは皆、主のために道を備えなければならない。
あなたたちは皆、彼の足のためにまっすぐな道を造らなければならない。

5 すべての谷は埋められ、
すべての山と丘は低くされるでしょう。

曲がった道はまっすぐになり、
険しい道も平らに。

6 そして、すべての人々は神の救いを自ら見るであろう。（イザヤ書 40. 3-5）

そして...

^M見よ、わたしはあなたの前に使者を遣わす。彼はあなたの道を備えるであろう。（マラキ 3. 1）

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルーク = ^L、ジョン = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書の書を識別します。さらに、**赤い斜体はイエスの言葉を示します。**

コンテキストダイジェスト	
位置	ヨルダン川、アイノン付近
時間	西暦29年4月 - イエスが宣教を始める前年
の生涯の段階	第二段階：宣教の準備の30年間
第5章	の宣教のために人々を準備する
セクション #024	洗礼者ヨハネが宣教を始める

18 の DJN リーディング (#005 ~ #023) を通じて、マタイとルカが、イエスの家族背景、受胎、誕生、幼少期、青年期、成人期を通して、イエスの人間性の準備についてどのように語っているかを追跡してきました。今日は、イエスの宣教の準備の最終面、つまり、洗礼者ヨハネの説教宣教の白熱した熱意について記述する 3 つのリーディングの最初のリーディングに移ります この 3 つの DJN リーディング (#024 ~ #026) は、ヨハネの宣教と、イエスのご自身の働きを始めるために人々をどのように準備したかについて、概要を説明しています。

ヨハネは、400 年ぶりにイスラエルに現れた最初の預言者でした。彼の宣教は、国を根底から揺るがしました。ヨハネは、イエスが公の救世主としての宣教を開始する前に、約 9 か月間説教しました。ヨハネは、イエスを救世主としてイスラエルに紹介し、イエスを洗礼しました。さらに、イエスはヨハネの説教と並行して、自身の宣教活動の最初の 6 か月間を指揮し、私たちの主は、ヨハネの近くで自身の宣教活動を行うことを選択しました。彼らはシームレスに協力しました。

ヨハネの公の宣教活動は短かった。ヘロデ・アンティパスによって投獄されるまでの約 15 か月間だけ説教しただけだった。しかし、その短い期間に彼は大きな影響を与えた。使徒行伝によると、ヨハネは殉教後 30 年経っても、エフェソスにまで弟子がいた (使徒行伝 19:1-6)。ナジル人であったヨハネは、生涯を神に捧げた。生涯に匹敵する効果と永遠の影響力を、わずか 15 か月間の説

教に詰め込んだイエスによれば、彼は非常に偉大な人物だった。ヨハネの。深く強烈な謙遜さが彼の偉大さの基盤であったことは、今後の朗読でわかるだろう。

今日の朗読は、ヨハネの宣教の二つの重要な特徴を際立たせています。第一に、使徒ヨハネは、洗礼者の役割がメシアの証人であることを本文で明確にしました(ヨハネ 1:6-9)。ヨハネは「神から遣わされた」者であり、イエスのように人間の肉体をまとった神ではありませんでした。彼は、他の人々をメシア、つまり真の光への信仰に導くことを目的とした証人であり、自分自身への信仰に導くことを目的とした者でした。そのため、使徒は次のように力説して、イエスの卓越性とヨハネの従属性を強調しました。「ヨハネ自身は光ではありませんでした。彼は特に光について証しするために来たのです。」

ヨハネの望みは、人々を自分から遠ざけてイエスに導くことだけでしたが、彼の影響力は非常に大きく、彼が亡くなってからずっと後も、多くの人々が彼の宣教活動を強調し続けました。この例は、使徒行伝 19 章の冒頭で触れました。イエスではなくヨハネが救世主であると信じ、宣言し始めた人々さえいました。

使徒ヨハネは、4つの福音書の中で最後に、他の福音書より約30年後の西暦90年頃にこの福音書を書きました。どうやら「洗礼者ヨハネ教団」は¹世紀末にはまだ活動していたようで、ヨハネは他の3つの福音書ではしていない方法で、イエスと洗礼者ヨハネの役割と関係を明確にしようと努力しています。状況を考えると、そうする必要があったのです。つまり、ヨハネはイエスの預言的な証人であり、救世主ではありませんでした。

第二に、ヨハネは「浸礼者」(バプテスマの信者、またはバプテスマを施す人)でした。私は、DJN テキストでは「浸す、または浸す」というギリシャ語の単語を、一貫して英語の「浸す」に翻訳することにしました。このギリシャ語の単語は単に「浸す」という意味だからです。新約聖書に記録されている浸礼のあらゆる例で、浸礼を受けた人は実際に水の中に入り、その後、肉体を持って出てきたことがわかります。同様に、私はヨハネを典型的な「バプテスマの信者」ではなく「浸礼者」と呼んでいます。

教会の歴史において、ギリシャ語の「浸す」という言葉は、注ぐ、振りかける、浸すなどの「洗礼」の儀式を行う後期(2世紀)の方法と関連付けられ始めました。「洗礼」は、「浸す」という意味の動詞ではなく、儀式を説明する新しい言葉になりました。

「洗礼」という言葉に音訳する習慣から、多くの混乱が生じています。ギリシャ語の原文から他のすべての単語を翻訳するのと同じように、ギリシャ語の単語をその平易な意味に翻訳すれば、問題全体がすぐに解決します。

ヨハネの慣習は、宗教界に心底衝撃を与える過激な行為でした。それまでにそのようなことを要求した預言者はいませんでした。これは何を意味していたのでしょうか。

ユダヤ教に改宗した成人は、アブラハムの契約のしるしとして割礼を受け、水に浸かることが義務付けられました。エルサレムの神殿には浸水池があり、改宗者は階段を下りて水の中に完全に浸かり、次に池の反対側にある別の階段を上りました。これは、契約前の古い生活を完全に洗い流し、神との契約関係における新しい生活の始まりを意味しました。浸水はユダヤ教への改宗とヤハウエへの信仰のしるしでした。

ユダヤ人に水浸しを要求することによって、浸礼者は、彼らが新しい改宗者のように、精神生活を最初からやり直す必要があると言っていた。彼らのユダヤ教の伝統は、来るべき救世主への信仰がなければ、神の目には単なる異教に過ぎなかった。したがって、悔い改め、つまり行動の変化につながる心の完全な変化は、ユダヤ教に改宗した異教徒の悔い改めと同じくらい包括的なものでなければならなかった。

ヨハネが浸礼を主張したことは屈辱的で、ユダヤ民族に対する侮辱でした。さらに、ヨハネは父親が祭司であったのに対し、祭司ではありませんでしたが、彼はユダヤ人全員に浸礼を要求しました。これは、神殿や大祭司と関係のない人物によって行われたことはなく、それ以前に行われたことはありませんでした。それはスキャンダルであり、物議を醸しました。

本文には、ヨハネが悔い改めのしるしとして浸礼を説いたことが記されています。なぜなら、救世主が近づいており、人々の心の中で統治を始める準備ができていたからです。王が近づいていたため、彼の統治、つまり王国は間近に迫っていました。これは、すべての人々が罪深い生き方を悔い改め、救世主と彼らの主を信じて従う準備をする必要があることを意味していました。浸礼は、内なる悔い改めと救世主を迎える準備の外的な証拠でした。

の慈悲と恵みが与えられるという素晴らしい約束を説きました。悔い改めた人々には罪の完全な赦しが与えられました。浸礼は、来るべきメシアを信じる悔い改めた信者が罪の赦しを受けたことの証しでした。

ヨハネは、悔い改め、メシアへの信仰、そしてメシアの名による赦しのしるしとして、恐れることなく浸礼を宣言し、イザヤ、マラキ、ゼカリヤが預言したとおり、イエスが宣教を始めるのに人々を準備させました。特にゼカリヤの預言は、ヨハネの宣教に関する正確な詳細に富んでいました。

応用：

歴史上最も準備の整った人生（イエス）は、歴史上最も注意深く準備された預言者によって先立って準備されました。聖書の中で、ヨハネ洗礼者ヨハネのように予言され、約束された預言者は他にいません。ですから、イエスの人生と宣教は二重に準備されていました。

神はまた、私たち一人一人が行うべき善行を計画し、準備してくださっています。そのすべては、イエスご自身の完璧な準備の中に含まれています。

「私たちは神の傑作であり、キリスト・イエスにあって良い行いをするために造られたのです。神はその良い行いを、私たちが行うようにあらかじめ備えておられました。」エペソ2:10 (NIV)

祈り、聖書、交わりが、イエスの道を備えるために神が使われた重要な手段であったことを私たちは見てきました。

神があなたに毎日行うよう用意してくださっている善行を行うにあたり、神から与えられたこれら3つのツールをどのように使っていますか。

より効果的に神に仕えるためには、どのような調整が必要ですか。